

# 「グリーン電力基金」平成18年度助成概要について

## 《プログラムの概要》

助成プログラム	普及目的用	地域協働プロジェクト	環境教育目的用
プログラム趣旨	◇主に自然エネルギーの量的な普及を目的とする。	◇自然エネルギーの普及・啓発を目的とする地域に根ざした取り組みの支援を目的とする。	◇小・中・高等学校等の環境教育授業等に活用することを目的とする。
対象エネルギー	◇風力、太陽光、水力、バイオマス※ ※廃棄物発電に含まれるバイオマスは対象外とする。具体的には、バイオマス燃焼発電、バイオガス発電とする。		
設置条件等	設置主体	◇公益的団体 ただし、地方公共団体、学校法人は除く。	◇地方公共団体等の公益的団体 (学校法人、NPO法人等を含む)
	設置場所等	◇東京電力(株)サービスエリア〔栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県(富士川以東)〕に新たに設置される発電設備であること。 ◇発電される電力が、公共性を有する施設で主として利用※される発電設備であること。ただし事業用風力発電設備はこの限りではない。 ◇エネルギー別に発電量(kWh)の計測並びに報告が可能であること。 ※主として利用とは、原則として自家消費比率50%以上の利用。	◇小・中・高等学校等の原則として学校内に設置される発電設備であること。 ◇発電状態(kW)が確認できる表示装置を設置すること。
	設備規模等	◇出力が10kW未満であること(風力は20kW未満)。 ◇系統連系の有無は問わない。	◇設備規模(kW)の大小、系統連系の有無は問わない。
	他の補助制度の利用	◇可(NEDO等の補助制度との併用が可能)。	◇不可(他の補助制度との併用はできません)。
	設置時期	◇設置工事が平成18年度以降に開始され、平成19年度末迄に完了するものであること。助成決定前の着工も可。	◇設置工事が助成決定後に開始され、平成19年度末迄に完成するものであること。
	その他	◇発電電力量記録の報告(設置後2年間)を求める。	◇発電電力量記録の報告(設置後4年間)を求める。 ◇発電設備の活用実績報告(設置後4年間)を求める。 ◇応募書類の中で以下の点について具体的な記述を求める。 ・過去2年間の活動実績(自然エネルギーへの取り組み) ・今後4年間の取り組み内容(施設見学会等の開催は必須条件) ・グリーン電力基金普及に向けた具体的な取り組み内容 ◇応募書類提出後ヒアリングを実施する。
助成方法	◇1プロジェクトの設置設備に対するkW助成とする。	◇1プロジェクトあたりの設置費用助成とする。	
助成単価等	◇設備出力に対し20万円/kW ただし1,000万円を上限とする。	◇対象設備の設置費用の85% ただし350万円を上限とする。	◇対象設備の設置費用の85% ただし200万円を上限とする。
助成枠(最終的には総額運用)	◇「普及目的用」「地域協働プログラム」の両プログラム合計で2億3,000万円		◇4,000万円
決定方法	◇委員会審査ののち、助成枠を上回った場合には、1都8県を考慮した抽選とする。 ◇各都県別の助成金額は、都県別基金加人口数に応じた比例配分とする。	◇応募書類、ヒアリング並びにそれらを踏まえた委員会審査により決定する。 ◇本プログラムでは不採択になったものの普及目的用として応募を希望する場合は普及目的用の審査対象とする。	◇委員会審査ののち、助成枠を上回った場合には、1都8県を考慮した抽選とする。

## 《平成18年度スケジュール(予定)》

平成18年4月上旬：プレス発表、募集要綱の公表と応募受付開始。  
 平成18年5月中旬：助成説明会の開催(同一内容で3回程度実施)。  
 平成18年8月上旬：「地域協働プロジェクト」の募集締切〔8月1日(火)予定〕。  
 平成18年9月上旬：「普及目的用」及び「環境教育目的用」の募集締切〔9月1日(金)予定〕。  
 平成18年10月上旬：グリーン電力基金委員会の開催(助成先決定)。

※具体的な助成内容、スケジュール等につきましては、4月上旬に公表いたします。